様式第１号（第８条、第９条関係）

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

令和3年　7月　26日

（宛先）

滋賀県知事

提出者
住所　（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
滋賀県東近江市妙法寺町1101-20
氏名　（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
凸版印刷株式会社　専務執行役員
エレクトロニクス事業本部長
植木　哲朗

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第３項 ・ ~~第20条第４項~~ ・ ~~第22条第１項~~ ・ ~~第22条第２項において準用する同条例第20条第４項~~）の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	凸版印刷株式会社　専務執行役員 エレクトロニクス事業本部長 植木　哲朗
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県東近江市妙法寺町1101-20

１　事業所の概要

事業所の名称	凸版印刷株式会社 エレクトロニクス事業本部　滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県東近江市妙法寺町1101-20					
主たる事業	細分類番号	2	8	9	9	その他の電子部品･デバイス･電子回路製造業
該当する事業者の要件	☑ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者					
	□ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	□ 任意提出事業者					

２　計画の内容

計画の内容	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第１号

（第１面）

１　計画期間

計　画　期　間	令和3　　年度　～　　令和5　　年度

２　低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

凸版印刷は「ﾄｯﾊﾟﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ地球環境宣言」を定め、全社的な環境保全に関する理念を定め、環境活動を推進しています。ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ事業本部にある当滋賀工場については、本社及び事業本部の方針のもと環境活動を推進します。

『ﾄｯﾊﾟﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ地球環境宣言』
私たちは責任ある国際社会の一員として、ﾄｯﾊﾟﾝｸﾞﾙｰﾌﾟで働く者全員が、未来を見据えた地球環境の保全に配慮した企業活動を通じて、持続可能な社会の実現に努めます。
【基本方針】
①私たちは、環境に関する全ての法令及び社内規程を遵守します。
②私たちは、地球の未来のために、限りある資源の有効活用と、あらゆる環境負荷の低減に努めます。
③私たちは、先見性をもって環境に配慮した製品の開発と普及を促進し、お客様の環境活動に貢献します。
④私たちは、社内外の広範な人びとと環境に関するｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの活性化を図り、相互理解に努めます。
⑤私たちは、国際社会における企業活動においても、環境保全に積極的に取り組みます。

『環境方針』

凸版印刷株式会社
ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ事業本部

凸版印刷(株)ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ事業本部は事業活動・製品・ｻｰﾋﾞｽにおいて、地球環境の保全が人類共通の最重要課題と認識し、環境に関する基本理念「ﾄｯﾊﾟﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ地球環境宣言」に従い、以下の方針に基づき環境保全活動を推進する。
(1)ISO14001に準拠した、環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑを構築し、ｼｽﾃﾑの継続的な改善を図ることにより、水資源の保全、汚染の予防、生態系の保護に取り組む。
(2)環境関連法令及び自らが同意するその他の要求事項(協定、指針等)を順守するとともに、よりﾚﾍﾞﾙの高い自主管理基準を設定し、順守する。
利害関係者の意見、要望、期待に対し適切に対応する。
(3)次の項目を環境管理重点ﾃｰﾏとして取り組み、継続的に改善する。
① CO2排出量の削減、省ｴﾈﾙｷﾞｰ
② 廃棄物排出量の削減、省資源、ﾘｻｲｸﾙ化
③ 排水、排ｶﾞｽ等による環境負荷の削減
④ 化学物質による環境影響の低減
(4)社会や地域における環境保全活動への支援・協力及び、必要に応じ情報提供をおこなう。
(5)環境方針達成のために環境目標を設定し、関係関連会社を含む全従業員をあげて環境保全活動を推進する。

2021年4月1日
凸版印刷株式会社 エレクトロニクス事業本部 製造統括本部長　伊原　信哉
株式会社ﾄｯﾊﾟﾝｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽﾌﾟﾛﾀﾞｸﾂ代表取締役　髙田　一広

３　低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

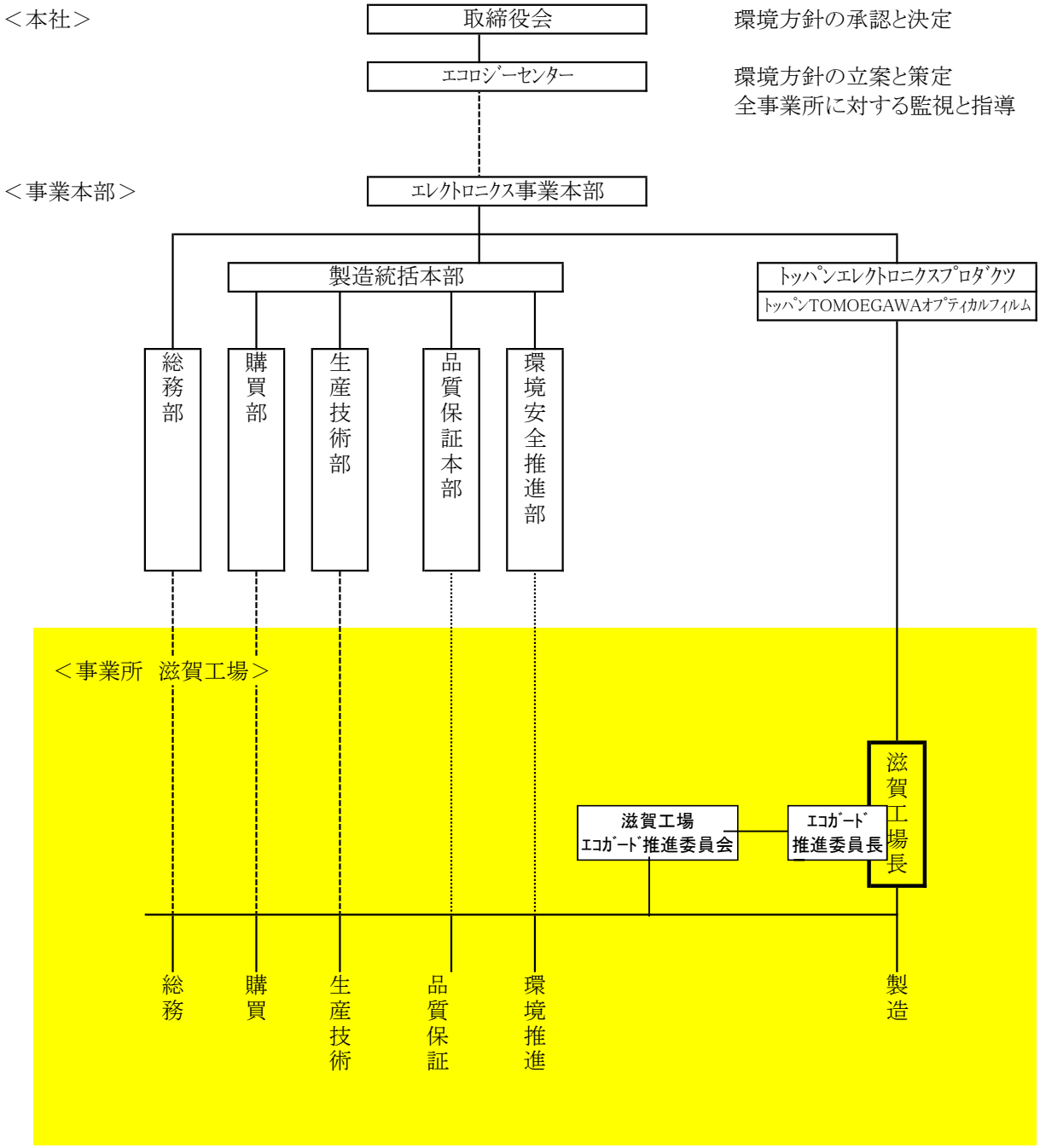
別紙1

備考　　組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

別紙1

低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

本社に「ｴｺﾛｼﾞｰｾﾝﾀｰ」、各事業所には「ｴｺｶﾞｰﾄﾞ推進委員会」の組織をつくり、
環境保全活動の推進をはかる



4　これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

取り組み内容
ボイラーの燃料転換（灯油→都市ガス）及び保温増強
ボイラーの台数制御による効率向上
空調機類（送風機・ポンプ）の動力にインバーター増設
給水ポンプの動力にインバーター増設
コンプレッサー類の供給圧力・台数制御・系統統合による効率向上
コンプレッサー機の更新（省エネ機種導入）
冷凍機の更新による効率改善
断熱塗装材による棟屋屋上の被覆塗装
場内照明の間引き削減、照明・暖冷房のこまめな運用
製造装置の最適配置（装置リストラ）
事務所等冷暖房設備を省エネ型に更新
社用車をハイブリッド化（2台）
クリーンルーム循環風量の削減
工場作業室などの換気風量の見直し
冷凍機の温度制御見直し等で稼動台数の抑制
照明ﾗﾝﾌﾟ交換時に高効率型(40→32)whに切り替え
照明のLED化
まとめ生産、ロット変更時のロス削減
超純水の使用量削減
音波式計測器による「漏れ感知」と改善

５　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

（１）エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実　施 スケジュール
1	設備導入	機器更新による効率改善 （冷凍機）	令和4年度
2	設備導入	機器更新による効率改善 （コンプレッサー）	令和3年度
3	設備導入	機器更新による効率改善 （受変電）	令和4年度
4	設備導入	機器更新による効率改善 （ボイラー）	令和4年度
5	設備導入	場内照明　LED型、高効率型への変更	令和3～5年度
6	運用改善	まとめ生産、ロット変更時のロス削減	令和3～5年度
7	運用改善	音波式計測器による「漏れ感知」と改善	令和3～5年度
8	運用改善	供給圧力の見直し	令和3～5年度

（２）エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガス の種類	取組の内容	実　施 スケジュール
1			
2			
3			

（３）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

1、「トッパングループ環境目標」

■2030年度中長期環境目標

・温室効果ガス排出 Scope1+2：2017年度(1,373千t)比　32.5%削減(446千t減 再エネ比率6.5%)

・温室効果ガス排出 Scope3：2017年度(6,122千t)比　20%削減(1,224千t減)

2、滋賀工場

	二酸化炭素排出量	
	排出量 (t/年)	排出量 基準(2017)年比 (%)
2017年実績	25,172	－
2020年実績	19,257	77%
2021年計画	19,064	76%
2022年計画	18,874	75%
2023年計画	18,685	74%

６　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

（１）取組の内容等

＜反射防止膜、タッチパネルセンサー＞
・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ(TV・ﾓﾊﾞｲﾙ)製品の省エネ機能（軽量、高性能）を支える部材開発と供給

＜フォトマスク（半導体原版）＞
・電気、電子製品の省エネ機能及び半導体の環境機能向上を支える半導体原版の開発と提供

（２）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

定量評価はｾｯﾄﾒｰｶｰの情報開示が必要になり、現況ではむずかしい。

7　その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実　施 スケジュール
1	一斉退社	定時退社日の設定で業務電力の削減	令和3～5年度
2	グリーン購入	再生紙、間伐材の使用による森林資源の保護	令和3～5年度
3	教育・啓蒙	全従業員に対する環境教育の推進と徹底	令和3～5年度
4	緑地保全	工場構内・周辺（道路・緑地）の清掃整備	令和3～5年度
5	グリーンカーテン	事務所等の窓に「緑のカーテン」育成	令和3～5年度
6			
7			
8			